



地球環境基金

JAPAN FUND for GLOBAL ENVIRONMENT



独立行政法人
ERCA 環境再生保全機構 地球環境基金部

〒212-8554
神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番 ミューザ川崎セントラルタワー 8F
TEL : 044-520-9505 FAX : 044-520-2192 <https://www/erca.go.jp/jfge>

地球環境基金

検索



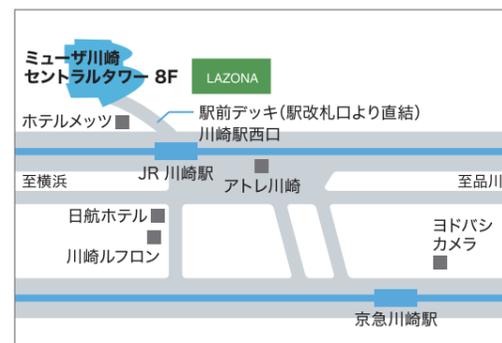
地球環境基金
ホームページ



twitter



Instagram



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

VEGETABLE OIL INK
環境問題を考慮して非
石油系のベジタブルイ
ンクを使用しています。

独立行政法人
ERCA 環境再生保全機構

地球環境のため、 一人ひとりの思いを集めて大きな力に

1980年代後半以降、地球環境問題が深刻化する中、1992年6月、ブラジルのリオデジャネイロにおいて「環境と開発に関する国連会議」(地球サミット)が開催され、国や地方公共団体、企業だけでなく民間の非営利団体(NGO・NPO)による取組みの重要性が認識されました。

これを受けて、日本では当時の環境庁が中心となり、民間団体(NGO・NPO)による環境保全活動への支援を行い環境保全に向けた国民的運動の展開を図ることを目的として、1993年5月に「地球環境基金」が創設されました。

今日でも、地球上では二酸化炭素による温暖化、熱帯林の減少や砂漠化の進行だけでなく生物多様性の損失等様々な環境問題が深刻化しています。私たちの経済社会の生産活動や日ごろの行動は、知らず知らずにごく身近な環境に影響を与え、ひいては地球規模の環境にまで影響を及ぼしています。このような地球環境問題に対処していくためには、国や自治体、企業だけでなく、民間団体の自主的な取組が必要不可欠となっています。

このような状況の中で、民間団体(NGO・NPO)の活動は、問題が生じればすぐに行動する機敏性、地元のニーズに基づく地域密着性や国境を越えて活動する柔軟性をもち、その活動に大きな期待が注がれています。

地球環境基金は、このような背景を踏まえ、環境NGO・NPOに更なる支援の充実を図るとともに、環境保全活動を行う次世代の人材育成に力を入れて持続可能な社会の実現に貢献していくことを掲げ、果たすべき役割を次のように定めました。

地球環境基金のビジョン

これからの社会は、市民一人ひとりの思いや志を、行動に変え、様々な環境諸課題を解決することが大切です。

環境NGO・NPOは、現場での活動を通じて、こうした一人ひとりの取組みや声、行動を結びつけ、社会の共感を得ながらその取組みの輪を広げ、良好な環境の創出につなげるという、大きな役割が期待されています。

活動の輪の広がり、それぞれ特有の生活、文化、経済を背景とした地域でのものから、多様な考え方や生活文化を持つ人々が関わる国際的、地球的規模のものまで、様々なレベルが必要となっています。その核となるべき環境NGO・NPOの活動もまた、多様なものになることが期待されています。

地球環境基金は、環境NGO・NPOの自主性、自立性、多様性を尊重しつつ、他の支援組織や事業者、行政と協力し、その活動を支援することを通じて、私たちの将来の世代に、豊かに生きる基盤である地球を引き継ぐことができる、持続可能な社会の実現に貢献します。

地球環境基金のミッション

1 環境NGO・NPOは、持続可能な社会づくり、環境保全に欠かせない存在となってきました。今後、さらに資金力の強化及び、専門力、提案力、動員力、発信力など、活動を支える力を強化すること、また、各々が自主性、自立性、多様性を尊重しつつ、他の主体との連携・協働を強化することなど、その機能を高めていくことが重要です。

その活動が充実するにつれて、市民から共感・信頼を得、活動がより大きくなり、経済や社会を変え、よりよい環境を作り出していくことが期待されます。

そうした期待に応え、共感・信頼される環境NGO・NPOが質的にも量的にも充実するよう、また、機能強化につながるよう地球環境基金は支援の拡充を目指します。

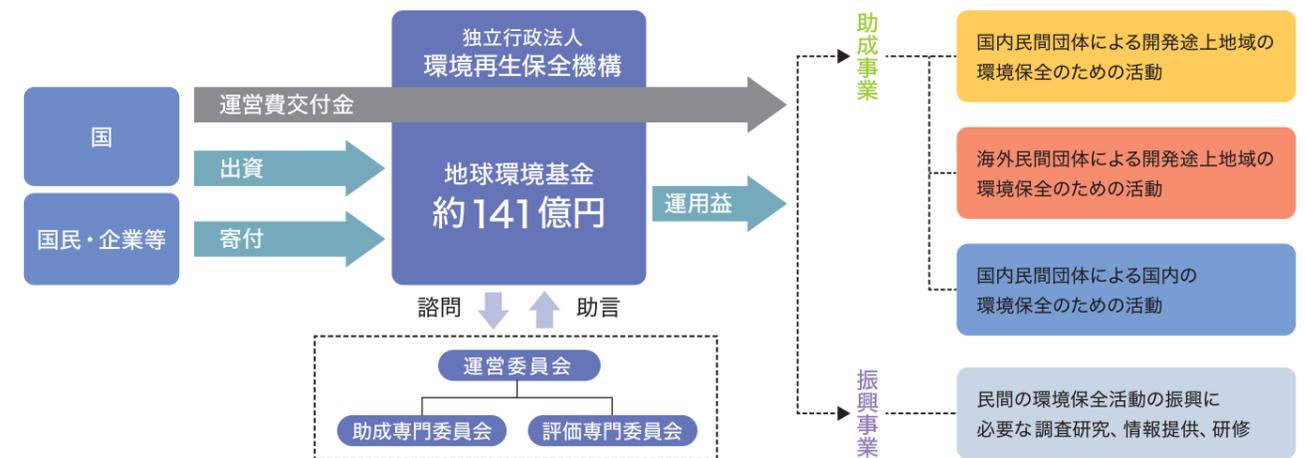
2 持続可能な社会には地域での取組みが欠かせません。地域作りを担い、地域に貢献できる活動を大切にするとともに、その地域活動が各主体との連携・協働などにより「孤」から「環」に広がるよう地球環境基金は、環境NGO・NPOを支援して参ります。

また、環境問題は国境を越え、地球大につながっています。取組みの環が世界へとつながり、広がっていくよう、地球環境基金は、国際的視野をもって、環境NGO・NPOを支援していきます。

地球環境基金のしくみ

地球環境基金は、国からの出資金と民間からの寄付金によって基金を設け、その運用益と国からの運営費交付金を用いて、日本国内外の民間団体(NGO・NPO)が行う環境保全活動へ支援を行っています。また、基金は、有識者による委員会の助言を得て運営されています。

地球環境基金の 2つの事業	助成事業	環境保全活動を行う民間団体(NGO・NPO)の活動に助成金の交付を行います。
	振興事業	環境保全活動の全般的な振興を図るため、環境保全活動を行う民間団体(NGO・NPO)や、環境保全活動に関心のある人々への調査研究、情報提供、研修事業を行います。



地球環境基金のあゆみ



助成事業

多様な環境保全活動を資金面でサポート

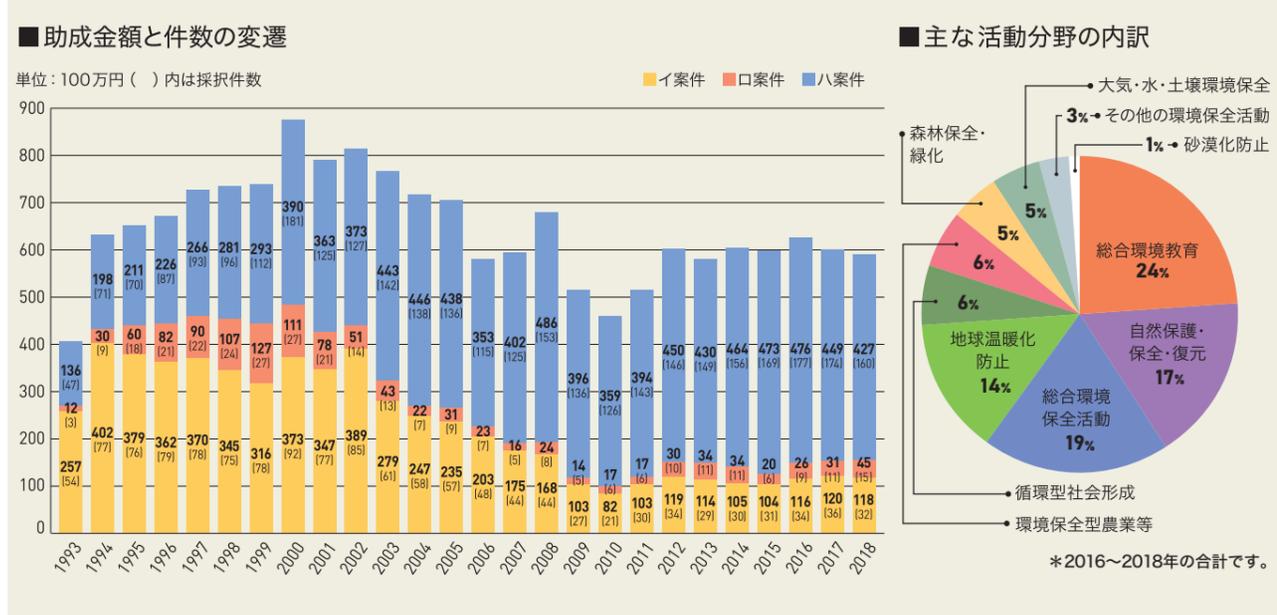
現場での保全活動から、政策立案、環境教育まで。民間団体が行うさまざまな環境保全活動に対し、資金助成を行います。財団法人、社団法人、特定非営利活動法人（NPO法人）のほか、任意団体なども対象としています。

●対象となる活動

- イ** 国内民間団体による開発途上地域の環境保全のための活動
- ロ** 海外民間団体による開発途上地域の環境保全のための活動
- ハ** 国内民間団体による国内の環境保全のための活動

●活動分野

自然保護・保全・復元  オオタカ保護基金 野生動物の保護のための生態調査、生息地等の保全等、渡り鳥の保護、外来生物対策、鳥獣保護管理等	循環型社会形成  地球市民の会 廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用の促進、廃棄物の適正処理及び不法投棄防止等	森林保全・緑化  登別自然活動支援組織モモンガくらぶ 全国的に見て貴重な森林の保全、砂漠地以外の山野・荒廃地の植林・緑化、二次的自然林（里山）の保全等	大気・水・土壌環境保全  国際湖沼環境委員会 大気汚染防止、河川湖沼等の水質汚濁防止、海洋環境保護、土壌汚染対策、有害化学物質対策の推進等	砂漠化防止  21世紀国際協力活動しまね実行委員会 砂漠地とその周辺での植林緑化、適切な灌漑推進等
総合環境教育  岩手子ども環境研究所 環境意識の啓発と高揚等のための総合的な環境教育・学習の推進、環境教育を通じた環境保全活動を実施する人材の育成等	環境保全型農業等  HANDS アグロフォレストリーの推進、自然農業技術の開発・利用の推進、棚田の保全等	総合環境保全活動  アフリカ地域開発市民の会 環境配慮型まちづくり、グリーン購入や環境ラベル等の取組み、環境政策提言のための調査研究等	地球温暖化防止  太陽光発電所ネットワーク 温室効果ガスの排出抑制、開発途上地域における地球温暖化への適応促進等	その他の環境保全活動  森と緑の研究所 その他の環境保全活動



助成団体によるプロジェクトの例

野生オランウータンの生息地の回復・再生事業

自然保護・保全・復元

（一社）オランウータンと熱帯雨林の会

野生オランウータンの長期にわたる生態の研究をもとに、オランウータンが使える森を再生するにはどうしたらよいかを研究者の観点で考察し、データ化しました。それに基づいてオランウータンが森でよく食べている樹種を育苗し、好む木を育て、荒廃地に植樹することで森林の回復・復元を図っています。



森林内の林床の実生苗を育苗用ポットに移植

妙高いもり池のスイレン、ブラックバス駆除、そしてヨシの刈り取りとヨシ紙漉き

自然保護・保全・復元

（特非）e-myoko

夏はオオハンゴンソウを根から駆除し、秋は2日間かけてスイレンの駆除を行いました。また、ヨシ刈りでは、刈り取ったヨシで紙漉き体験を実施したほか、ホテル育成にも注力し、活動前は3匹だったホテルが50匹ほどに増えました。地元の市民と共に活動し、県外の人々に環境活動を体験してもらうことも大切にしています。



オオハンゴンソウの駆除

助成団体によるプロジェクトの例

沿岸環境モニタリングと住民主体型ガバナンスモデルの開発、 ならびに大学連携ネットワークによる普及 ー日本、タイ、フィリピンー

総合環境保全活動

LEAD-Japan Asia Pacific Initiative

大学間の協力関係を基礎とし、国内外の関連NGOや国際機関と協力して活動を行っています。中心テーマは、アジア・太平洋における環境の持続可能性の向上です。特にサンゴ礁などの生態系保全に重点を置き、具体的な活動としてはフィールドワーク、教材開発、教育などを行っています。



調査中の海の様子

ケニア北部ロヤンガラニ地区における 半砂漠地域での植林緑化活動

砂漠化防止

(特非)ICA文化事業協会

地区内6ヶ所の地域住民や学校などと連携し、1,500本の苗木の植林や環境教育を実施しました。また、アグロフォレストリーによる食料確保のできる環境作りと、水不足の村や学校にむけた給水ホースの設置を行っています。これらを通して6部族が団結し、連携体制の構築と緑化の持続発展につなげていきます。



村人と日本人の専門家による植林

釧路のシャチとザトウクジラをシンボルとした 海洋生態系保存のためのパッケージ活動

自然保護・保全・復元

Orca.org さかまた組

研究者らと連携し、釧路沖海洋生物調査を実施しています。また、住民・観光客・漁業者・教育関係者など各分野に働きかけ、保全活動への参画を構築しました。このほか、小笠原・沖縄・ロシアの鯨類調査チームとの情報交換や、住民・観光客を対象とした調査サポート型エコツアーを行っています。



市民ツアー参加者に釧路へ来遊する鯨類と環境についてレクチャー

都市と森をつなぐ森林保全のための基礎整備事業

総合環境保全活動

(特非)環境ネットワーク埼玉

「環境教育プロジェクト検討会」を設置。森の環境教育プログラムを作成し、都市の親子を対象に、そのプログラムを試行しました。また、HP上に開催専用ページを開設し、企業・市民向けセミナー等の開催情報を掲載しています。このほか、さいたま市内の企業を対象に、CSR活動に関する意識調査も実施しました。



森のGOOD JOB体験in秩父

東日本大震災被災地の海浜植物の地域交流による レスキュー活動

東日本大震災関連活動

北の里浜 花のかけはしネットワーク

被災海岸で種子を集めて北海道で育苗し、現地に苗を戻しに行って地域の方々と植栽する活動を実施。北海道では石狩中学校や黒松内ブナの森自然学校などで苗を育て、仙台市荒浜・新浜、名取市関上浜、釜石市根浜にてさまざまな団体との共催による植栽・交流会を開催しています。



植栽交流活動(仙台市荒浜)

若者ボランティア育成・マッチング制度による、活動団体の 「高齢化」、「後継者不足」問題を克服した森林・里山保全活動強化事業

総合環境教育

(特非)トチギ環境未来基地

若者の森林・里山活動の機会を増やすため、年間を通して若者との森づくり活動を行い、リーダー育成のためのトレーニングプログラムを実施しています。一方、ベテラン団体に向けて、若者と上手に活動するための研修を実施した結果、若者と団体のマッチングに成功しました。



若者との森づくり活動

振興事業

環境保全活動を担う人材や団体の育成

民間団体による環境保全活動をより実り多いものにするためには、資金面のサポートだけでなく、活動についての情報や、人的なサポートも必要です。地球環境基金では、環境保全活動を担う方々を育てる活動にも力を入れています。

●事業分野

調査研究

国内外の環境NGO・NPOの活動状況を毎年アンケート調査する「環境NGO・NPO活動状況調査」をはじめ、環境保全活動に関するさまざまな調査・研究を行っています。

情報提供

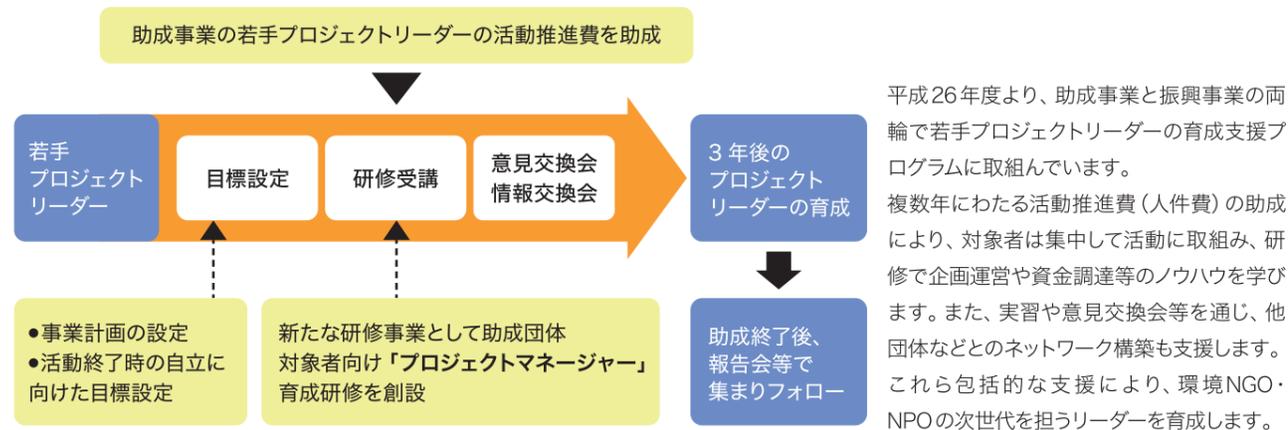
ホームページや報告会、報告書等による情報提供を行っています。「環境NGO・NPO活動状況調査」の結果は「環境NGO・NPO総覧オンラインデータベース」として公開しています。

研修・講座

環境保全活動にたずさわる人材の育成、組織強化、運営ノウハウの提供等を目的に、研修・講座を毎年全国で開催。国際協力の推進に関する海外派遣研修も実施しています。

多彩な研修・講座で環境NGO・NPOをサポート

●若手プロジェクトリーダー育成への新たな支援



●海外派遣研修

環境保全に取り組むNGO・NPOのスタッフ等を、海外の環境保全活動の現場に派遣して行う研修です。世界の環境問題の現状等について理解を深め、今後の環境保全活動に役立つ知識や技術を習得します。また、現地で活動する国際NGOや国際機関とも交流し、日本の環境NGO・NPOによる国際協力の振興と人材育成を図ります。



次世代の人材育成に向けて

●全国ユース環境ネットワーク促進事業

ユース世代の環境ネットワークを構築し、交流や連携、相互研鑽、情報共有を通じ、ユースの更なる可能性を引き出すことを目的とし、実施しています。

実施概要

- ユース環境フォーラム
- ユース環境座談会
- ユース環境企業研修
- ユース環境体験プログラム
- 「全国ユース環境活動発表大会」の開催
- 環境情報誌「全国ユース環境ネットワーク」の発行



「第4回 全国ユース環境活動発表大会」の集合写真

「第4回 全国ユース環境活動発表大会」受賞校

環境大臣賞

長崎県立五島高等学校 五島環境部

島から世界を巻き込め!海から生み出すお宝大作戦!

「五島の海が綺麗な海ではなくなってきている。」潮の流れに乗って、五島の海岸には多種類のゴミが多く漂着している。そこで、学生団体を立ち上げ、五島一周調査を実施。7時間かけて海岸線を一周すると、ほぼ全域に海ゴミの漂着ゴミが見られた。また、学校外の多くの人に海ゴミの存在を知ってもらうために海ゴミでアートを作った。人を巻き込むことが持続可能な活動をする上での一番重要なポイントだと考え、今後も活動に取り組んでいく。



環境再生保全機構理事長賞

岐阜県立恵那農業高等学校 花咲かみつばち倶楽部

花咲かみつばちプロジェクト～みつばちとともに里山の調査・保全・活用～

里山の植物にとって必要不可欠なみつばちを守りたいという思いから活動を開始。Honey Prodece活動では耕作放棄地を再生し農地収穫物の蜜源植物(レンゲ、エゴマ)を増殖。また、販路創出に向けて、蜂蜜、エゴマ油、エゴマ味噌、蜂蜜天然酵母のエゴマ食パンの商品を開発。すべての収穫物の販路を創出することができた。売り上げの一部を使いレンゲの種を購入し、地域でエゴマ栽培に取り組む農家さんへ訪花昆虫のために蜜源増殖への協力を呼び掛けた。



国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞

東筑紫学園高等学校 広谷湿原保全プロジェクト

平尾台&広谷湿原 水の起源を探る+高校生が国際条約に挑戦!

日本で唯一、カルスト台地に存在する貴重な湿原、広谷湿原の成因、増減、再生の全3点から考察し、ラムサール条約登録に向けて活動している。「人間がずらしてしまった湿原の時間軸を元に戻すのは、人間の責務である」と考え、福岡県と地元の苅田町に「里山的手法」をもとに再生の提言を行い、作業している。土壌硬度による湿原境界の数値化、安定同位体による水の分析を研究し、陳情や発表を進める。3年後の2021年の締約国会議を目指している。



主催

- 全国ユース環境活動発表大会 実行委員会
- 環境省
- 独立行政法人環境再生保全機構
- 国連大学サステナビリティ高等研究所

協賛企業

私たちは、全国のユースの環境活動を応援しています



寄付案内

寄付を通して環境NGO・NPOの活動をご支援ください

地球環境基金は、皆様の地球環境保全にける思いを、具体的な活動につなげるための基金です。職場で、学校で、イベント会場で、多くの皆様に募金やご寄付をいただいています。地球環境基金へお寄せいただいた皆様の募金や寄付の中から、その一部をご紹介します。(敬称略・順不同)

ご寄付の方法

地球環境基金への寄付を通して、環境NGO・NPOの活動をご支援ください。地球環境基金では、金融機関からのご寄付のほか、ご不要になった本やDVDの買取、募金箱の設置等、さまざまな寄付方法をご用意しています。

リサイクル困難なものを
新たな製品に再生する取組みから

テラサイクルジャパン (東京都目黒区)

テラサイクルは「捨てるという概念を捨てよう」をモットーに、従来廃棄物として捨てられていたモノや、リサイクルが困難とされているモノを世界各国で回収し様々な製品に再生するグローバル企業です。回収協力者から集められた使用済みハブラシや壊れたビニール傘、スキンケア容器の量によってポイントが付与され、環境団体に寄付できる仕組みで、地球環境基金にご寄付いただいています。



全員参加で取組む「本de寄付」を通じて

オリンパス株式会社 (本社: 東京都新宿区)

オリンパス株式会社は、毎年6月のCSR環境月間にあわせて、国内外のグループ会社を挙げてさまざまな環境貢献活動を実施しています。国内活動の一環で、従業員の「全員参加」をキーワードに、地球環境基金の「本de寄付」によるご寄付と、さらに買取金額と同額のご寄付を地球環境基金にいただいています。



ものを捨てずに循環させる。
貴金属などの買取金額の一部から

株式会社七豊物産 (本社: 東京都台東区)

創業420年の老舗呉服店より始まった株式会社七豊物産は、使わなくなった「モノ」に新たな価値をプラスし、再資源として社会に循環させるエコ・リサイクルへの取組み「Re-Life」事業を展開しています。貴金属やブランド品などの買取や販売代行サービスをご利用いただいたお客様に、社会貢献への取組みの一環として地球環境基金にご寄付いただいています。



食品ロスを減らす
食品保存料の売り上げの一部から

奥野製薬工業株式会社 (本社: 大阪府大阪市)
JNC株式会社 (本社: 東京都千代田区)

化学的研究開発を通じて、工業製品から食品添加物まで多岐にわたる製品を製造・販売する奥野製薬工業株式会社とJNC株式会社。この2社からは、食品ロスの削減を目指し共同開発された食品保存料「エコセーブDLP」(ポリリジン配合)の売り上げの一部を、地球環境基金にご寄付いただいています。



地域の環境イベントを通じて

梅花女子大学茶道部 (大阪府茨木市)

大学のある茨木市で毎年11月に開催される「いばらき市環境フェア」では、エコライフを実現する方法を紹介した展示や体験コーナーのほか、フリーマーケットなどが実施されています。同部は、当イベントにて、野点(のだて)を行い、抹茶やお菓子の売り上げを地球環境基金にご寄付いただいています。



地球環境基金サポーターとして

イーパートナーズ株式会社 (東京都港区)

イーパートナーズ株式会社のインバウンド事業部では、訪日外国人を対象とした宿泊施設の取得や開発を行っており、快適な宿泊環境を提供することで、日本でのアクティビティにお役立っていただいています。また、ウィルケア事業部では、訪問介護事業を通じて、利用者様の生活環境の向上に貢献しています。同社からは、「地球環境基金サポーター」として、継続的にご寄付いただいています。



1 「本de寄付」から

「本de寄付」は、不要になった本やDVDの買取金額が寄付金となり、NGO・NPOの環境保全活動に役立てられます。



2 「つながる募金」から

「つながる募金」は、スマートフォンを利用して100円から寄付いただけます。



3 金融機関からのお振込みから

以下の金融機関、口座にてご寄付を受け付けています。

ゆうちょ銀行	00190-0-664214	地球環境基金
新生銀行/本店	普通預金 0789699	
三井住友銀行/東京公務部	普通預金 3013615	独立行政法人 環境再生保全機構
三菱UFJ銀行/本店	普通預金 7637448	地球環境基金
みずほ銀行/本店	普通預金 2413416	
りそな銀行/赤坂支店	普通預金 1023850	



4 クレジットカードのポイントから

カードのポイントプログラムを通してご寄付いただけます。

- セゾンカード/UCカード
- 三菱UFJニコスコカード ●ポケットカード



5 オンラインで決済から

VISA、Master、JCB、AMEX、Dinersのクレジットカードをお持ちの方は、地球環境基金のホームページからご寄付いただけます。



6 地球環境基金サポーターから

環境NGO・NPOの環境保全活動を継続的にご支援いただけます。



7 全国のFamiポートから

全国のファミリーマートに設置されているマルチメディア端末「Famiポート」からご寄付いただけます。



8 募金箱から

募金箱の貸出しを行っています。企業・団体のオフィスや、環境関連イベントの会場等に募金箱を設置いただけます。



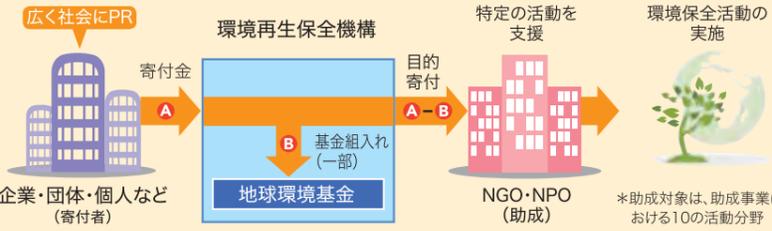
9 イベントから

イベントの売上や、募金箱の設置等さまざまな方法でご寄付いただけます。地球環境基金の活動紹介パネル、ポスター等の貸出し、広報グッズの提供を行っています。



特定の活動に対して支援を行う
「地球環境基金企業協働プロジェクト」

「地球環境基金企業協働プロジェクト」とは、特定の活動に対して、企業や団体等からの寄付金を直接助成に充てることができるプログラムです。



※助成対象は、助成事業における10の活動分野

LOVE BLUE 助成

一般社団法人日本釣用品工業会の寄付された資金により、水辺の環境保全活動に助成を行う「LOVE BLUE 助成」が実施されています。

